

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	観光イベント開催事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
種別				款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	C				
担当課	一之宮支所 基盤産業課		内線	項	2	観光費					H26計画額	2,200 千円		
			3431	目	1	観光振興費				D	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	イベント参加者	どうしたいのか(意図)	・人々のところを魅了する通年型の観光地づくりを行う。	概要	事業の実施手法(手段)	・四季を通じて楽しむことのできる魅力あるイベント(臥龍桜・桜まつり、モンデウス・スペシャルホリデー)を開催する。 ・イベントを開催する飛騨一之宮イベント推進実行委員会に負担金を交付する。
	対象者数	50,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨生きびな祭りの開催(4月3日) ・臥龍桜・桜まつりの開催(4月14日～5月6日) ・飛騨一之宮・納涼夏祭りの開催(8月14日) ・モンデウス・スペシャルホリデーの開催(1月20日) 					
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	イベント回数	回	目標値	4	4	4	2
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	4	4	4	
	達成率(%)		100	100	100		
成果指標	イベント参加者数	人	目標値	50,000	50,000	50,000	42,000
	算出根拠等		実績(見込)	45,900	22,100	42,600	
成果指標	達成率(%)		92	44	85		
	算出根拠等		目標値				
成果指標	実績(見込)		実績(見込)				
	達成率(%)		達成率(%)				
成果指標	算出根拠等		目標値				
	達成率(%)		実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・イベント参加者が目標値に到達するようイベント内容の充実や内容の見直しを実施する。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・事業コストの縮減を図りつつ、魅力あるイベントを開催するため、イベント内容の見直しを実施する。
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 ・地域に根差したイベントを持続的に開催できるよう、イベント内容や運営方法などの見直しを実施する。
二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 ・地域主体の事業とすべく、特定期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討の必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,999	2,798	2,500	1,740
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	65	127	50	41
	受益者	イベント参加者	(B)	45,900	22,100	50,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	観光イベント(臥龍桜・桜まつり、モンデウススペシャルホリデー)に対する負担金	要求のポイント	4事業のうち、飛騨生きびな祭りや飛騨一之宮納涼夏祭り事業については、地域振興助成事業(協働のまちづくり事業)へ移行	事業実施の課題	平成27年度以降の事業のあり方について、検討の必要がある。	観光課	平成27年度以降の観光振興事業については、市の関わり方、実施主体、誘客効果等の観点から、市が直接実施するもの、市が民間と一体となって実施するもの、民間団体が主体となって実施するもの及び地域の自主事業に整理することとしており、地域振興イベントについても、整理方針への対応を見据えた事業実施が必要である。
						地域政策課	同上

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,500	1,740	△ 760	1,700	1,700	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,500	1,740	△ 760	1,700	1,700		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	隊龍桜日本画大賞展開催事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	高山市地域振興計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにつながる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。
	9			教育費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	一之宮支所 地域振興課	内線	予算	4	社会教育費	目	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	9,400 千円			
				6	文化振興費		○	D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・文化芸術に対する関心の向上を図るとともに、人材の発掘、育成をめざす。(小中学生等) ・市民(小中学生、一般)が優れた芸術文化(絵画)に触れる機会を創出する。 ・隊龍桜の名にちなんだ全国公募展覧会を開催し、国指定天然記念物「隊龍のサクラ」を全国に発信する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・「隊龍桜」の名を冠した全国規模の日本画公募展の開催 ・市内の小中学生を対象とした小中学生部門の開催 ・市内及び県美術館等での展覧会の開催
	対象者数	92,097					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・第23回隊龍桜日本画大賞展を開催し、全国より公募の結果、382点の応募があり、大賞1点、優秀賞2点、奨励賞5点、桜賞1点、入選61点、計70点を選出した。小中学生部門では、市内の全小中学校に募集の結果、19校から468点の応募があり、大賞1点、優秀賞6点、奨励賞9点、入選44点、計63点を選出した。 ・展覧会は、高山展が14日間で889人、岐阜展が6日間で2428人、述べ3317人の来場者があった。						
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動指標	全国公募による日本画展の応募作品数	点	目標値	400	400	400	400
			実績(見込)	419	382	351	
算出根拠等			達成率(%)	105	96	88	
活動指標	小中学生部門の応募者数	人	目標値	500	500	500	500
			実績(見込)	479	468	720	
算出根拠等			達成率(%)	96	94	144	
成果指標	展覧会の一日当たりの入場者数	人	目標値	100	100	100	100
			実績(見込)	96	165	87	
算出根拠等			達成率(%)	96	165	87	
成果指標			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				
成果指標			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				
補足			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・現在の事業実施の中でコスト削減に取り組んでいるが、今後の開催内容、運営方法を検討し、更なるコスト削減に向けた検討が必要である。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・市民が芸術文化に触れる機会を提供するため、展覧会の更なる入場者数の増加をめざし、周知の方法を検討する。 ・小中学生部門では、若年層の芸術的素養の更なる発掘を目指すため、審査員を交代し、新たな観点による審査を行う。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・今後の実施方法・運営方法等について継続して検討する。 ・市民に芸術文化に触れる機会を提供するため、今後とも、この展覧会を広く周知する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・市美術展覧会、木版画ビエンナーレ(隔年)を合わせた3つの公募展の関連や位置づけ、市民を巻き込んだ実施方法等について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 8,349	8,694	9,400	11,246
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 89	94	102	122
	受益者	(B) 全市民(4月1日現在)	93,312	92,861	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・全国公募による「隊龍桜日本画大賞展」の実施 ・市内の小中学校のを対象にした小中学生部門の実施 ・市内及び都市部での展覧会の開催(高山展、東京展、岐阜展)	要求の ポイント	・隊龍桜にちなんだ公募の日本画大賞展で、20回を超える開催で全国的に知られており、市民にも広く芸術文化に触れられる機会を与えている。文化芸術への関心の高まりや人材発掘、育成を行うため継続して実施する。	事業 実施 の 課題	・今後の開催内容、運営方法を検討し実施する必要がある。	生涯 学習 課題 地域 政策 課	・隊龍桜日本画大賞展は、他の公募展に比べ多額の経費がかかっている。 ・他の公募展との関連や位置づけ、市民を巻き込んだ実施手法、経費の節減等について検討する必要がある。 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。
------	---	-------------	--	---------------------	-----------------------------	---------------------------------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		9,400	11,246	1,846	10,960	10,960	精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	1,900	1,900	0	1,900	1,900		
	一般財源	7,500	9,346	1,846	9,060	9,060		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	飛騨位山文化交流館美術展覧会事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	高山市地域振興計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにつながる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。
	種別			9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	一之宮支所 地域振興課		内線	4	社会教育費	目	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	330 千円	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにつながる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。	
	対象者数	3421		6	文化振興費		D	その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・幅広く、文化芸術に触れる機会を創出する。 ・市所蔵作品の有効活用を図る。 ・日本画展による市所蔵作品や審査員の作品を鑑賞する機会を利用し、臥龍桜日本画大賞展の知名度アップを図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・第1回からの大賞作品や歴代審査員による優れた日本画作品の展覧会を開催する。 ・「臥龍桜」の開花時期に併せて展覧会を開催する。
	対象者数	92,097					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・第1回～第23回までの大賞作品(24点 連作2作品含む)と高山市所蔵の歴代審査員作品(5点)の計29点を展示した展覧会を開催し、4月13日から5月1日までの16日間に延べ483名の来場者があった。					
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	展覧会の開催日数	日	目標値 実績(見込)	17 19	17 16	17 18	17 18
成果指標	算出根拠等	日数	達成率(%)	112	94	106	
	開催期間中の入場者数	人	目標値 実績(見込)	650 557	650 483	650 554	650 554
成果面	算出根拠等	実績値/目標値	達成率(%)	86	75	85	
	算出根拠等		目標値 実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値 実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値 実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値 実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値 実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値 実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値 実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値 実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値 実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値 実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値 実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値 実績(見込)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・展覧会入場者数は臥龍桜の開花状況によって異なることから、開花から満開に合わせた展覧会の開催期間の設定が難しい。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・当事業は既に終了したが、今年の開花は例年に比べ1週間程度遅れたため、当初想定した開花時期と開催期間との整合がとれず開催前半の入場者数が少なかった。今後は開花予想を工夫し開催期間を設定する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・国指定天然記念物『臥龍桜』の満開時期に開催し、来場者へのPR方法の充実を努める。 ・臥龍桜の開花時期に併せて楽しんでいただける新たな展覧会の企画に努める。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・過去の入賞作品展示に特化した事業については、特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 194	151	330	330
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2	2	4	4
	受益者	(B) 93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・第1回からの大賞作品や歴代審査員の優れた日本画の展覧会開催 ・国指定天然記念物「臥龍桜」の満開時期に合わせた展覧会の開催	要求の ポイント	一人でも多くの人に市所蔵品の鑑賞機会を提供し、芸術文化活動の更なる浸透を図る。	事業 実施 の 課題	平成27年度以降、所蔵品の展示及び保管方法の検討	生涯 学習 課 地域 政策 課	・市有美術品の有効活用について検討する必要がある。 平成27年度以降の事業実施について、類似事業との市全体のバランスを考慮し検討する必要がある。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		330	330	0	330	330	要求とあり	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	330	330	0	330	330		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業 (モンデウススキー大会開催事業)	会計	1	一般会計	特別 予算 の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約
	種別			9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	一之宮支所 地域振興課	内線 3413	予算	5	保健体育費			C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	600 千円	
				1	体育総務費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民(ジュニア:7歳~15歳、シニア:40歳~)	どうしたいのか (意図)	・市民(ジュニア、シニア)の体力維持、体力増進を図る。 ・モンデウススキー場への誘客促進を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・モンデウススキー大会を実施する大会実行委員会へ負担金を交付 ・ジュニアスキー大会の開催 ・シニアスキー大会の開催
	対象者数	92,097					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・モンデウススキー大会実行委員会によって、2月3日にジュニアスキー大会(参加者217名)、2月20日にシニアスキー大会(参加者102名)が開催された。							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動 指標	ジュニアスキー大会参加者数	人	目標値	300	300	300	300
		実績(見込)		252	217	300		
		算出根拠等	ジュニアスキー大会参加者数	達成率(%)	84	72	100	
	活動 指標	シニアスキー大会参加者数	人	目標値	150	150	150	150
		実績(見込)		95	102	150		
		算出根拠等	シニアスキー大会参加者数	達成率(%)	63	68	100	
	成果 指標	ジュニアスキー大会対前年度比率	%	目標値	100	100	100	100
		実績(見込)		121	86	100		
		算出根拠等	当年度参加者数/前年度参加者数	達成率(%)	121	86	100	
	成果 指標	シニアスキー大会対前年度比率	%	目標値	100	100	100	100
		実績(見込)		93	107	100		
算出根拠等		当年度参加者数/前年度参加者数	達成率(%)	93	107	100		
成果 指標	モンデウススキー場年間利用者数	人	目標値	45,000	45,000	45,000	45,000	
	実績(見込)		45,072	43,136	45,000			
	算出根拠等	実績値/目標値	達成率(%)	100	96	100		
補 足				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・実行委員会による自主運営の方法と組織体制の確立 ・新たなスポンサーや協賛金の確保等で負担金の減額を図る。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・実行委員会による自主運営の方法と組織体制の確立	
次 年 度 の 実 施 方 針	維持・改善	・地元密着の事業として、運営を地域主体で行っているが、今後の継続には自主財源の更なる確保が必要である。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二 次 評 価	維持・改善	・特定期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	900	800	700	600
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	10	9	8	7
	受益者	市民(ジュニア、シニア)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	・モンデウススキー大会開催事業への助成	要求 の ポ イ ン ト	・自主活動として定着させるとともに継続した事業として確立するため実施	事業 実 施 の 課 題	支 所	・実行委員会による自主事業としての運営の確立	ス ポ ー ツ 推 進 課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。今後、協働のまちづくりにより、地域(実行委員会)が事業を自主運営していくことができる仕組みづくりを検討する必要がある。
							地域 政 策 課	平成27年度以降の事業実施について、地域で検討する必要がある。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		700	600	△ 100	600	600	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	700	600	△ 100	600	600		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	内線	3413	特別 予算の 位置 付け	会計	1	一般会計	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	高山市老人福祉計画	市長公約	5 医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要介護者等への地域福祉体制を整備します。
種別						款	3	民生費					
担当課	一之宮支所 地域振興課					項	1	社会福祉費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	420 千円		
						目	3	老人福祉費	D その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	どうしたいのか(意図)	・明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、福祉の向上のために事務局人件費を助成し、老人クラブを通じて、各種活動の育成、支援を行う。
	対象者数	9,677					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,000	10,000	10,000
		実績(見込)	9,796	9,584	9,677			
	算出根拠等	目標値/実績値		達成率(%)	93	96	97	
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	143	139	138
		実績(見込)	143	139	138			
	算出根拠等	目標値/実績値		達成率(%)	95	97	99	
	活動指標	連合長寿会加入率	%	目標値	43	40	40	40
		実績(見込)	39	38	37			
	算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口		達成率(%)	91	95	93	
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、今後一層の充実と活発な取り組みが必要である。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 420	420	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 753	755	727	724
	受益者	(B) 558	556	578	580

5 予算編成(Action2)

事業内容	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の育成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。	要求のポイント	地域老人クラブ事務局人件費	事業実施の課題	地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般会計(31336事業老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。	高年介護課 地域政策課
------	---	---------	---------------	---------	---	----------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		420	420	0	420	420		
財源内訳	国庫支出金			0			・要求どおり	・財務部査定のとおり
	県支出金	280	280	0	280	280		
	その他			0				
	一般財源	140	140	0	140	140		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	61199	位山交流促進センター管理事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	2	商工業・地場産業をさらに発展させます ・将来の地域経済を支える持続的な振興を図るため、高速交通網や広大な地域の特性を活かした新しい産業育成に取り組み、新規常雇用者の増加を目指します。
種別			款	6	商工費		○	B					
担当課	一之宮支所 基盤産業課	内線	項	1	商工費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	8,000 千円			
		3431	目	1	商工振興費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	施設利用者	どうしたい のか (意図)	・地域の特色を活かした魅力ある商業の振興を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・道の駅がもつ販売機能の強化と活用を行う。 ・施設の管理は、財団法人 位山ふれあいの里に委託する。
	対象者数	63,000					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・道の駅の附帯施設として位山交流促進センターの管理運営を実施する。						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	施設営業日数	日	目標値	325	325	325	325
			実績(見込)	325	325	325	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
成果 指標	施設利用者数	人	目標値	63,000	63,000	63,000	63,000
			実績(見込)	61,346	60,119	60,000	
算出根拠等			達成率(%)	97	95	95	
成果 面			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)			
			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				
補 足			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)			
			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・年間を通して集客できるような環境整備や経営改善に向けた分析を行う必要がある。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・更なる集客を目指し、隣接する合併記念公園のPRや経営改善に向けた分析を行う。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善	・道の駅の附帯施設として適正に運営するとともに経営改善に向けた取り組みを実施する。 (担当課評価に同じ)
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
○ 維持・改善		
○ 拡大		
○ 縮小		
○ 廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 8,000	8,000	8,000	8,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 130	133	127	127
	受益者 施設利用者数	(B) 61,346	60,119	63,000	63,000

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	位山交流促進センター(道の駅付帯施設)の管理	要 求 の ポ イ ン ト	事 業 実 施 の 課 題	支 所	平成27年度以降、安定した運営が行えるよう、平成25年度に受託者が策定した改善計画を軌道に乗せる必要がある。	商 工 課	経営改善計画の検証により、着実な実施が必要である。
						地 域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		8,000	8,000	0	8,000	8,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	8,000	8,000	0	8,000	8,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	市道未登記用地測量事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
種別				款	7	土木費		○	B			
担当課	一之宮支所 基盤産業課	内線	3431	項	2	道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	500 千円	
				目	1	道路橋りょう総務費		D	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・未登記路線を整理し、市道の適正な管理を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	・市道未登記箇所の測量を行い、所有者からの寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・未登記路線の確定測量及び分筆測量						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	未登記路線測量等調査筆数	筆	目標値	2	1	1	1
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	2	1	1	
			達成率(%)	100	100	100	
成果指標	未登記完了筆数(延べ数)	筆	目標値	69	69	69	69
	算出根拠等		実績(見込)	46	47	48	
成果指標			達成率(%)	67	68	70	
	算出根拠等		目標値				
成果指標			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果指標			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
成果指標			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
補足			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・未登記路線が早期に解消できるよう、引き続き積極的に取り組んでいく必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・未登記路線が早期に解消できるよう、引き続き積極的に取り組んでいく。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・未登記路線が早期に解消できるよう、引き続き積極的に取り組んでいく。
	○ 拡大	
二次評価	○ 維持・改善	・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 498	415	500	500
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 5	4	5	5
	受益者	全市民 (B)	93,312	92,861	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	市道未登記用地の調査、測量、登記	要求のポイント	事業実施の課題	支所	引き続き、事業を推進する必要がある。	維持課	世代交代が進んでいくため、早めに地権者の承諾を得て、優先順位をつけて未登記路線の解決を進める必要がある。
						地域政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	500	500	0	500	500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	500	500	0	500	500		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74599	地域景観保全振興事業 (桜の里づくり)	内線	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
種別					款	7	土木費		○	B				
担当課	一之宮支所 基盤産業課			3431	項	4	都市計画費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	1,400 千円		
					目	5	景観保全総務費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・桜を基調とする地域個性の創出として桜の舞う地域づくりを行う。	概要	事業の実施手法(手段)	・桜を適正に管理するために補植、防除及び施肥を実施する。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・桜の防除・施肥の実施 ・しだれ桜の整姿作業の実施						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	桜の維持管理本数	本	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	1,000	1,000	1,000	
			達成率(%)	100	100	100	
成果指標	隊籠桜・桜まつり入場者数	人	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000
	算出根拠等		実績(見込)	35,000	20,000	38,000	
成果指標			達成率(%)	88	50	95	
			目標値				
成果指標			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果指標			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
成果指標			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
補足			実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・桜の防除については引き続き、樹幹注入剤の効果を検証する必要がある。 ・一之宮桜を守る会と連携しながら桜を適正に管理する必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・桜の防除については引き続き、樹幹注入剤の効果を検証する。 ・一之宮桜を守る会と連携しながら桜を適正に管理する。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
コスト面	・引き続き、一之宮桜を守る会と連携しながら桜を適正に管理する。 ・良好な景観を守るために、しだれ桜の整姿作業を計画的に実施する。 ・特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,089	2,333	8,300	4,555
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	12	25	90	49
	受益者	全市民	(B)	93,312	92,861	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	桜の保護管理や整姿・剪定整備	要求のポイント	桜の整姿・整備に必要な経費を計上	事業実施の課題	・引き続き、桜を適正に管理する必要がある。	都市整備課 地域政策課	しだれ桜の配置を区分けし、計画的に整姿整備を実施する必要がある。 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。
------	----------------	---------	------------------	---------	-----------------------	----------------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	8,300	4,555	△ 3,745	4,300	4,300	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0				
	一般財源	8,300	4,555	△ 3,745	4,300		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花いっぱい運動事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	4	個人・家庭・地域を大切に社会を築きます ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
種別			款	9	教育費		○	B					
担当課	一之宮支所 地域振興課		項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	470 千円			
	内線	3413	目	1	社会教育総務費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一之宮地域の住民	どうしたいのか(意図)	・地域住民が花壇づくりに参加することで、地域コミュニティの醸成を図る。 ・花づくりを通して、美しい地域づくりに住民みんなで取り組み、地域の絆を強めるとともに豊かな心を育成する。	概要	事業の実施手法(手段)	・一之宮地区町内会等へ花苗・肥料等の配付を行う。 ・花壇づくり講習会及び花壇コンクールを一之宮社教と共催で開催する。
	対象者数	2,623 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 一之宮地区の町内会(社教・子ども会)等の行う花いっぱい運動のため花苗・肥料等を配付 花壇づくり講習会を開催(社教と共催) 花壇コンクールは社教が主催で実施(社教に属さない4団体不参加)。審査員1名分の謝礼を市で支出 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	花苗配付数	株	目標値	13,000	13,000	15,000	15,000
				実績(見込)	12,880	12,900	13,500	
				算出根拠等	達成率(%)	99	99	90
	成果指標	花壇箇所数	箇所	目標値	37	37	37	37
				実績(見込)	37	37	37	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	成果指標	花壇コンクール応募数	団体	目標値	33	33	33	33
				実績(見込)	33	33	33	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	補足			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・地域振興特別予算終了後の支所地域の花いっぱい運動がアンバランスにならないよう、新たな予算の枠組みなど検討が必要
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・事業存続に向け、地域振興特別予算終了後も一般予算化を検討する。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 花いっぱい運動推進のため、継続していく。 各支所地域とのバランスの考慮も必要だが、肥料等一部予算縮小の検討可能
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次 評価	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 383	417	470	470
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 145	159	179	179
	受益者	(B) 一之宮地域住民(4月1日現在)	2,633	2,625	2,623

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 一之宮地区町内会へ花苗・肥料等の配付 一之宮地区子ども会へ花苗・肥料等の配付 宮保育園保護者会等へ花苗・肥料等の配付 花壇づくり勉強会の開催(4月頃) 花壇コンクール審査員謝礼の支払い(9月頃) 花壇コンクール審査員謝礼の支払い(9月頃) (肥料・農薬は5月上旬に配付、花苗は6月中～下旬に配付) 	要求のポイント	市民憲章にある「環境をととのえ」を実現する代表的事業で地域住民の自主的なコミュニケーション活動につなげるために実施	事業実施の課題	花いっぱい運動推進のため、平成27年度以降は市民憲章推進事業との統合(吸収)が必要	市民活動推進課	地域社会教育推進事業は、花いっぱい運動にかかる経費として全支所地域において計上されているが、予算措置の内容は花苗等の購入のほか肥料や資材の購入、花壇の管理委託など地域によって異なっている。今後、協働のまちづくりの議論の中で、事業の必要性や取り組み方法等について検討する必要がある。
						地域政策課	平成27年度以降は市の関わり方を整理し、地域づくりの観点から市が実施することと地域で実施することの整理が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		470	470	0	470	470	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	470	470	0	470	470		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	地域伝統芸能保存会助成事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	高山市地域振興計画	市長公約	9 伝統文化を守り、次代へ継承します ・地域の伝統文化を守る活動や、新しい高山の文化を創造していく活動を支援するため、芸術文化夢基金(芸術文化保存振興ファンド)を創設します。
種別			款	9	教育費		○	B				
担当課	一之宮支所 地域振興課	内線	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
				目	7		文化財費	D	その他事業			
		3421						H26計画額	45 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一之宮地域の小学5年生～中学3年生の男子	どうしたいのか(意図)	・地域の伝統芸能(鬮鶏楽)の保存と伝承を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・地域伝統芸能保存会活動への助成
	対象者数	81 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・一之宮子ども会鬮鶏楽伝承会(5月2日例祭参加)の活動費用に高山市文化財等保護事業補助金を助成した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	伝承回数(練習および例祭)	回	目標値	5	5	5	5
				実績(見込)	5	5	5	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	成果指標	一之宮地域の子どもの参加率	%	目標値	70	70	70	70
				実績(見込)	65	65	63	
				算出根拠等	達成率(%)	93	93	90
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・地域の伝統文化継承のため引き続き支援する必要がある。
--------------------------	-----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・伝統芸能保存の観点から、引き続き補助していく。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	伝統芸能保存の観点から、引き続き補助していく。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものと整合を図りながら、今後の支援のあり方を検討する必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 45	45	45	45
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 17	17	17	17
	受益者	一之宮地域住民(4月1日現在)	(B) 2,633	2,625	2,623

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域伝統芸能保存会活動への助成	要求のポイント	鬮鶏楽の保存と伝承	事業実施の課題	・地域の伝統文化の継承のため引き続き支援する必要があるが、支援方法や支援内容の検討が必要である。	文化財課	民間などの地域芸能の伝承、後継者の育成は継続的に行うことが大切である。今後も計画的な支援が必要である。
						地域政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		45	45	0	45	45	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	45	45	0	45	45		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	国指定天然記念物「臥龍桜」維持管理事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	高山市地域振興計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値のある有形無形の伝統文化や文化財などの資源を保存活用するために、美しいふるさと認証制度を創設します。
	種別			9	教育費		○	B					
担当課	一之宮支所 地域振興課		予算 内線	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	180 千円			
		3421		7	文化財費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたい のか (意図)	・国指定天然記念物「臥龍のサクラ」の保護育成を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・岐阜大学林教授等による、国指定天然記念物「臥龍のサクラ」の保護育成指導 ・臥龍桜周辺の草刈、施肥の実施
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・国指定天然記念物「臥龍のサクラ」の保護育成のため、草刈・施肥を行った。学識経験者の指導を受け支柱交換を行った。						
成果 面	活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		岐阜大学林教授等による現地診断回数	回	目標値	1	1	1	2
				実績(見込)	2	1	2	
	算出根拠等			達成率(%)	200	100	200	
	活動 指標	草刈・施肥の回数	回	目標値	2	2	2	2
				実績(見込)	3	3	2	
				算出根拠等	実績値/目標値	達成率(%)	150	150
	成果 指標	臥龍桜見学者数	人	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000
				実績(見込)	35,000	20,000	38,000	
				算出根拠等	実績値/目標値	達成率(%)	88	50
	補 足			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・保護育成に向けて、引き続き事業を実施していく。
----------------------------------	--------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・保護育成に向けて、引き続き事業を実施していく。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善	・保護育成に向けて、引き続き事業を実施していく。 ・大規模な保護事業が必要になった場合は、国と連携し計画的な事業実施が必要である。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
○ 拡大		
○ 縮小		
○ 廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A) 65	423	650	300	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1	5	7	3
	受益者 全市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・臥龍桜の保護育成事業	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	支 所	・臥龍桜の維持管理のため継続して実施する。	文化 財 課	天然記念物の保護、育成は継続的に行うことが大切である。今後も国と連携し計画的な事業実施が必要である。
						地域 政 策 課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		650	300	△ 350	300	300	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	650	300	△ 350	300	300		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	位山道維持管理事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	高山市地域振興計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値のある有形無形の伝統文化や文化財などの資源を保存活用するために、美しいふるさと認証制度を創設します。
種別			款	9	教育費		○	B					
担当課	一之宮支所 地域振興課	内線	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	71 千円			
		3421	目	7	文化財費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・奈良時代からの官道遺構「位山道」(市指定文化財)の維持管理を図る。 ・高山固有の文化を後世に継承する。	概要	事業の実施手法(手段)	・位山道の維持管理(草刈)の実施 ・位山道の修繕
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・位山道の草刈を2回実施						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
				目標値	3	3	3
成果指標	算出根拠等	回	実績(見込)	2	2	3	
			達成率(%)	67	67	100	
成果指標	算出根拠等	回	目標値	3	3	3	3
			実績(見込)	3	3	3	3
成果指標	算出根拠等	イベント開催数	達成率(%)	100	100	100	
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
成果指標	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・位山道(東山道飛驒支路)として都から飛驒へと文化が伝わった歴史ある道より多くの人々に知ってもらい取組みが必要である。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・草刈りの他、官道の整備を実施する。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
次年度の実施方針	歴史ある官道を守り、高山の文化にかかる官道の重要性を後世に引継ぐために、引続き事業を継続する。 ・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものと整合を図りながら、今後の事業のあり方を検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 66	324	300	300
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 1	3	3	3
	受益者 全市民(4月1日現在)	(B) 93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・位山道の維持管理(草刈り)の実施	要求のポイント	事業実施の課題	支所	・市民参加や保存団体の組織化による保存活動が必要である。	文化財課	文化財の保護、啓発は継続的に行うことが大切である。指定文化財であり、石畳の修復には歴史的な検証が必要である。
						地域政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	300	300	0	300	300	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	300	300	0	300	300		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21899	「源流の里」ほたるの舞う里づくり事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。	
種別			款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	一之宮支所 基盤産業課	内線	3431	項	1		総務管理費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額			400 千円
		目	18	環境政策費	D		その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・源流地域の恵まれた自然を守り、地域住民の愛郷精神を育む。	概要	事業の実施手法(手段)	・ホテルの生息しやすい環境整備や生息調査を実施する。 ・生息調査地点には「蛍の舞う町」という看板を設置し、地域に啓発する。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの生息調査 ・ホテルの環境整備 						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	ホテルの環境整備箇所数	箇所	目標値	2	1	1	1
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	2	1	1	
			達成率(%)	100	100	100	
成果指標	ホテルの個体確認数	匹	目標値	200	300	400	400
	算出根拠等		実績(見込)	235	156	200	
成果指標			達成率(%)	118	52	50	
			目標値				
成果指標			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果指標			目標値				
			実績(見込)				
成果指標			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
補足			実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・ホテルの個体数を更に増加させ、地域にとって身近に感じような取り組みが必要である。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・ホテルの個体数の情報や保護活動の情報を地域にPRする。	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	引き続き、ホテルの生息調査や環境整備を実施する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものと整合を図りながら今後の事業のあり方検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 255	289	400	482
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 3	3	4	5
	受益者	全市民 (B)	93,312	92,861	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	ホテルの保護育成を行うための生育調査及び環境整備	要求のポイント	事業実施の課題	支所	環境政策推進課	平成26年度中に、今後は地域活動の一環として自主的な取り組みに移行できるよう働きかける必要がある。
					地域政策課	平成27年度以降の事業実施について、地域で検討する必要がある。

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	400	482	82	400	400	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	400	482	82	400	400		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	清酒臥龍桜醸造助成事業	内線	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
種別				款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	一之宮支所 基盤産業課		3431	項	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	150 千円		
				目	1	観光振興費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・地域の特産品として清酒臥龍桜を利用した観光振興を図る。 ・臥龍桜日本画大賞展の知名度アップを図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・清酒臥龍桜を一之宮地域のみで限定販売する。 ・清酒ラベルに日本画大賞展審査員の原画を採用する。 ・清酒臥龍桜を醸造する飛騨一之宮酒販売組合に補助金を交付する。
	対象者数	92,097					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・清酒臥龍桜のラベル原画代 ・臥龍桜・桜まつり会場における販売啓発活動					
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	清酒臥龍桜出荷本数	本	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	2,000	1,700	1,700	
	算出根拠等		達成率(%)	100	85	85	
成果指標	清酒臥龍桜販売本数	本	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
	算出根拠等		実績(見込)	1,800	1,500	1,500	
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	90	75	75	
			目標値				
成果指標			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果指標			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
成果指標			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
補足			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・新たな地域イベントで販売するなど販路を拡大する必要がある。
--------------------------	--------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・新たな地域イベントで販売するなど販路を拡大する。																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td><input checked="" type="radio"/>維持・改善</td> <td rowspan="3">・特例期間終了を見据え、事業者が自主的に取り組むことができるよう検討していく必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td><input type="radio"/>維持・改善</td> <td rowspan="3">・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、行政の支援について縮小(廃止)を検討していく必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input checked="" type="radio"/>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	・特例期間終了を見据え、事業者が自主的に取り組むことができるよう検討していく必要がある。		<input type="radio"/> 拡大		<input type="radio"/> 縮小	二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、行政の支援について縮小(廃止)を検討していく必要がある。		<input type="radio"/> 拡大		<input checked="" type="radio"/> 縮小		<input type="radio"/> 廃止検討	
担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	・特例期間終了を見据え、事業者が自主的に取り組むことができるよう検討していく必要がある。																
	<input type="radio"/> 拡大																	
	<input type="radio"/> 縮小																	
二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、行政の支援について縮小(廃止)を検討していく必要がある。																
	<input type="radio"/> 拡大																	
	<input checked="" type="radio"/> 縮小																	
	<input type="radio"/> 廃止検討																	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 150	150	150	150
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2	2	2	2
	受益者	全市民 (B)	93,312	92,861	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	清酒ラベルの作成とPRIに対する助成	要求のポイント	事業実施の課題	観光課	酒販組合での自主事業化に向けて検討する必要がある。
				地域政策課	平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		150	150	0	150	150	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	150	150	0	150	150		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74699	地域公園用地購入事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約	
種別			款	7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	一之宮支所 地域振興課	内線 3411	予算	項	4	都市計画費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	千円
				目	6	公園管理費		D	その他事業		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	土地開発基金保有地(雑種地)の買戻しをする。	概要	事業の実施手法(手段)	地区公園(ふれあい広場)の一般予算による買戻し
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		H26新規事業						
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動指標	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
補足	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	合併前に公園用地として基金で取得した用地の買戻しが必要である。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	公園用地については、計画的な買戻しが必要である。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課に同じ)
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	0	0	0	15,000
受益者1件当たり(円)	(A/B)				163	
受益者	(B)	0	0	0	92,097	

5 予算編成(Action2)

事業内容	土地開発基金公園用地購入(ふれあい広場)	要求のポイント		事業実施の課題	支所 合併前に公園用地として基金で購入した用地の買戻しが必要である。	都市整備課 地域政策課	土地開発基金公園用地については計画的な買戻しが必要である。
------	----------------------	---------	--	---------	---------------------------------------	----------------	-------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)			15,000	15,000	15,000	15,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源		15,000	15,000	15,000	15,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21099	地域振興助成事業 (協働のまちづくりモデル地区補助金)	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	合併のメリットを活かし、それぞれの地域の特性を伸ばします 地域住民から信頼される支所運営を目指し、支所機能の強化をはかるために、 権限と予算の再構築を行います。
種別			款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	一之宮支所 地域振興課		項	1	総務管理費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	4,700 千円			
	内線	3411	目	10	市民活動推進費	D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一之宮地域の住民	どうしたい のか (意図)	・地域住民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進するため、住民自らが主体となって事業に取り組むことにより、地域の活性と地域コミュニティの醸成を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・地域住民が自主的に取り組む、公共性の高い事業に対しての助成
	対象者数	2,623 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・一之宮地域の町内会や任意団体 計11団体から申請および実績があった。住民自らが主体となって地域振興事業に取り組まれた結果、安全安心な住環境が整うとともに、特色ある地域づくりや地域活性化、地域コミュニティの醸成が図られた。						
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動 指標	補助金交付申請件数	件	目標値	10	10	4	1
			実績(見込)	10	11	6	
	算出根拠等		達成率(%)	100	110	150	
活動 指標	補助金交付申請額	千円	目標値	3,000	3,500	1,500	3,000
			実績(見込)	2,835	3,303	1,500	
	算出根拠等	交付申請額	達成率(%)	95	94	100	
成果 指標	補助金交付実績件数	件	目標値	10	10	4	1
			実績(見込)	10	11	6	
	算出根拠等	交付実績件数	達成率(%)	100	110	150	
成果 指標	補助金交付実績率	%	目標値	90	90	90	100
			実績(見込)	95	94	100	
	算出根拠等	交付実績件数/予算額	達成率(%)	106	104	111	
補 足	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・住民の自主的な取り組みをさらに進めるため、事業PRを強化しながら住民の主体性の向上を図る必要がある。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・町内会長会や班長会で地域振興事業補助金について説明するとともに、申請時における相談にも対応する。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善	・住民の主体的な地域振興事業活動という観点から、引き続き実施する。また、平成26年度を終期としている事業であることから、27年度以降の対応も検討する必要がある。
	○ 拡大	
二 次 評 価	○ 維持・改善	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、27年度以降の対応について検討する必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,835	2,803	1,000	4,200
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,077	1,068	381	1,601
	受益者	一之宮地域住民	(B)	2,633	2,625	2,623

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成	要求の ポイント	・協働のまちづくりのモデル地区として、地域住民が主体的に取り組めるよう既存の事業を統合	事業 実施 の 課題	支所 平成26年度を終期としている事業であることから、27年度以降、協働のまちづくり事業へ引き継いでいけるよう調整を図る必要がある。	地域 政策 課	平成27年度以降は市の関わり方を整理し、地域づくりの観点から市が実施することと地域で実施することの整理が必要である。
------	---------------------------------------	-------------	---	---------------------	---	---------------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,000	4,200	3,200	3,000	3,000	・協働のまちづくりモデル地区補助金にかかる経費を計上	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,000	4,200	3,200	3,000	3,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	合併のメリットを活かし、それぞれの地域の特性を伸ばします 地域住民から信頼される支所運営を目指し、支所機能の強化をはかるために、 権限と予算の再構築を行います。
種別			款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	一之宮支所 地域振興課	内線	項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
				目	9		企画費	D	その他事業			
		3411						H26計画額	4,700 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一之宮地域の住民	どうしたいのか(意図)	・地域住民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進するため、住民自らが主体となって事業に取り組むことにより、地域の活性と地域コミュニティの醸成を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・地域住民が自主的に取り組む、公共性の高い事業に対しての助成
	対象者数	2,623 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	指標名	単位	目標・実績			
			H23	H24	H25	H26
成果面	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
			算出根拠等			
成果面	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
			算出根拠等			
成果面	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
			算出根拠等			
成果面	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
			算出根拠等			
補足	算出根拠等		目標値			
			実績(見込)			
			達成率(%)			
			算出根拠等			

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・住民の自主的な取り組みをさらに進めるため、事業PRを強化しながら住民の主体性の向上を図る必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・住民の主体的な地域振興事業活動という観点から、引き続き実施する。また、平成26年度を終期としている事業であることから、27年度以降の対応も検討する必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次 評価	○ 維持・改善	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、27年度以降の対応について検討する必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23	H24	H25	H26
		決算額	決算額	予算額	予算要求額
	歳出(千円)	(A)	0	500	500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	-	190	191
	受益者	(B)	2,633	2,625	2,623

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	地域 政策 課
------	---------------------------------------	-------------	-----------------	----	---------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		500	500	0	500	500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	500	500	0	500	500		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業	内線	3411	特別 予算の 位置 付け	会計	1	一般会計	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	合併のメリットを活かし、それぞれの地域の特性を伸ばします 地域住民から信頼される支所運営を目指し、支所機能の強化をはかるために、 権限と予算の再構築を行います。
種別						款	2	総務費						
担当課	一之宮支所 地域振興課					項	1	総務管理費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	8,000 千円		
						目	9	企画費	D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一之宮地域住民	どうしたい のか (意図)	・市有施設の修繕等、地域からの要望に即座に対応する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・市道、水路など公共施設の軽微な修繕
対象者数		2,623					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・地域から9件の要望があり、市道の修繕工事等を行った。支所長権限で即座に対応できることから、地域の安全性が迅速に確保された。							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動 指標	要望対応件数	件	目標値	10	10	6	10
		実績(見込)			9	10	10	
	成果 指標	算出根拠等	要望対応件数	達成率(%)	90	100	167	
		事業実績金額	%	目標値	90	90	90	90
	実績(見込)			99	67	90		
	算出根拠等	実績金額/予算額	達成率(%)	110	74	100		
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
		達成率(%)						
算出根拠等		目標値						
		実績(見込)						
算出根拠等		達成率(%)						
		目標値						
算出根拠等		実績(見込)						
		達成率(%)						
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・地域要望対応事業のさらなる活用を進めるために、地域へのPRを強化していく必要がある。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・町内会長会や班長会で地域要望対応事業について説明するとともに、要望書提出時にもアドバイス等を行っている。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・地域の要望に即座に対応していくという観点から、引き続き実施する。また、平成26年度を終期としている事業であることから、27年度以降の対応も検討する必要がある。
	○ 拡大	
二次 評価	○ 維持・改善	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、27年度以降の対応について検討する必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	4,952	5,669	7,700	8,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,881	2,160	2,936	3,050
	受益者	一之宮地域住民(4月1日現在)	(B)	2,633	2,625	2,623

5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共施設等の軽微な修繕	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	地域 政策 課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である
------	--------------	-------------	-----------------	----	---------------	---------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		7,700	8,000	300	9,900	9,900	・配分額の調整	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	7,700	8,000	300	9,900	9,900		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74699	土地借上げ料	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約	
種別			款	7	土木費		○	B			一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	一之宮支所	内線 3431	項	4	都市計画費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額		千円
			目	6	公園管理費		D	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	各施設利用者	どうしたいのか(意図)	・施設用地の借上げ	概要	事業の実施手法(手段)
	対象者数	90,000				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・臥龍公園用地(一部)借上げ ・モンデウス飛騨位山スノーパーク案内看板用地借上げ 							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	用地の借上面積	㎡	目標値	516	478	478	470
				実績(見込)	516	478	478	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	成果指標	臥龍桜・桜まつり来場者数	人	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000
				実績(見込)	35,000	20,000	38,000	
				算出根拠等	達成率(%)	88	50	95
	成果指標	モンデウス飛騨位山スノーパーク来場者数	人	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000
				実績(見込)	45,072	43,136	43,000	
				算出根拠等	達成率(%)	90	86	86
	補足				目標値			
					実績(見込)			
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・市の基準に近づきよう単価交渉等を継続する必要がある。
--------------------------	-----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		・市の基準単価に近づきよう単価交渉等を継続する。
次年度の 実施方針	担当課評価	維持・改善
	○	拡大
		縮小
	二次評価	廃止検討
○	維持・改善	
	拡大	(担当課評価に同じ)
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	467	447	447	397
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	6	7	5	10
	受益者	各施設利用者数	(B)	80,072	63,136	90,000	40,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	臥龍公園内通路土地借上料	要求のポイント	事業実施の課題	支所	・市の基準に近づきよう単価交渉等を継続する必要がある。	都市整備課 地域政策課	・臥龍公園連絡通路の用地については今後も継続して借上げる必要がある。(都市整備課) ・基準内の借地料となるよう交渉が必要である。
------	--------------	---------	---------	----	-----------------------------	----------------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		447	397	△ 50	397	397	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	447	397	△ 50	397	397		